

SJクイズ

[問題編]

Q₁

2018年の人対車両の事故件数を事故類型別にみると、最も多いのは歩行者がどの状態でしょう？

- ①横断中 ②背面通行中 ③対面通行中

Q₂

歩行者が横断中の事故件数を道路形状別にみると、7割以上が交差点内で発生していますが、信号機のある交差点と信号機のない交差点のどちらが多いでしょう？

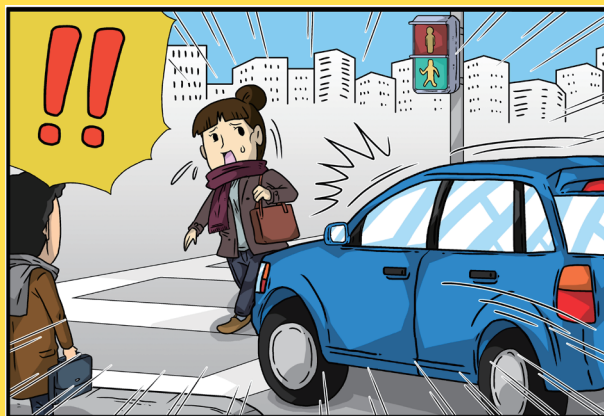
- ①信号機のある交差点 ②信号機のない交差点

Q₃

歩行者が横断中の事故件数を原付以上運転者（第1当事者※）の法令違反別にみると、最も多い違反は次のうちどれでしょう？

- ①安全不確認 ②脇見運転 ③歩行者妨害等

※第1当事者=事故当事者のうち最も過失の重い者。過失が同程度の場合は、被害が最も軽い者



【使用上の注意】

●営利目的での利用はおやめください ●内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください ●その他、使用に関するご質問はお問い合わせください
本田技研工業（株）安全運転普及本部 TEL:03 (5412) 1736

SJ クイズ ?

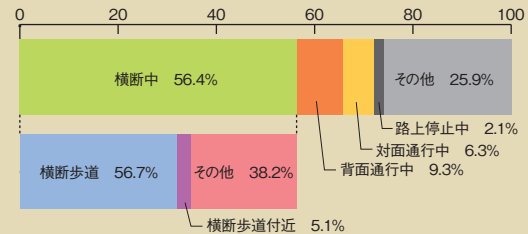
[解答・解説編]

Q1 解答 ①横断中

<解説>

2018年の人対車両の事故件数（4万8618件）を事故類型別にみると、横断中が最も多く、56.4%を占めている。さらに、横断中の事故の半数以上は横断歩道で起きている。ドライバー・ライダーは道路を横断する（横断しようとしている）歩行者がいる場合、必ず横断歩道の手前で一時停止して優先させなければならない。一方、歩行者は道路を横断する際、スマートフォンなどを注視せずに、クルマやバイクの動きに注意することが自分の身を事故から守ることにつながる。

●人対車両の事故類型別・交通事故件数
(2018年・構成率)



Q2 解答 ①信号機のある交差点

<解説>

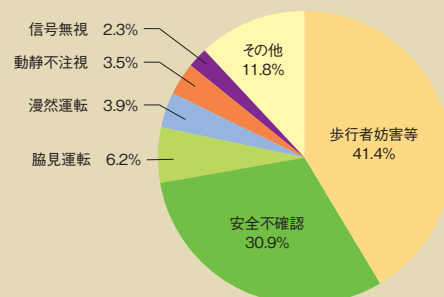
2018年の歩行者が横断中の事故件数（2万7409件）を道路形状別にみると、73.3%が交差点内で発生している。その内訳は信号機のある交差点（57.5%）が、信号機のない交差点（42.5%）を上回っている。信号機のある交差点（歩車分離式除く）においては、歩行者が横断している時に右左折する車両も交差点内に進入してくるため、事故が起こる可能性がある。また、歩行者は赤信号になってから横断を始める場合もあるため、ドライバー・ライダーは歩行者用信号機が青の時はもちろん、赤の時も横断しようとする歩行者や自転車がいなか、大きく顔を動かすなどして周囲の状況を確認することが事故防止につながる。

Q3 解答 ③歩行者妨害等

<解説>

2018年の歩行者が横断中の事故件数を原付以上運転者（第1当事者）の法令違反別にみると、違反で最も多いのは「歩行者妨害等」で全違反（2万5250件）の41.4%を占めている。これは、横断歩道に歩行者がいるにもかかわらず、クルマやバイクが歩行者を優先せずに通過してしまう違反である。道路交通法では、横断歩道等を横断し、または横断しようとする歩行者等がある時は、その手前で一時停止し、その歩行者等の通行を妨げないようにしなければならないと規定している。これをドライバー・ライダーは再認識する必要がある。特に、左折時は先行車がつくる死角に横断してくる歩行者や自転車が隠れている場合もあるため、十分に注意してほしい。

●歩行者が横断中に車両と事故になった時の原付以上運転者（第1当事者）の法令違反別・交通事故件数
(2018年・構成率)



※文中のデータやグラフの出典はすべて警察庁資料

【使用上の注意】

●営利目的での利用はおやめください ●内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください ●その他、使用に関するご質問はお問い合わせください
本田技研工業（株）安全運転普及本部 TEL:03 (5412) 1736